

賀 正

新年のごあいさつ



養父市長 梅谷 馨

「勝負の年」の気概を持って

新しい年の幕があきました。皆様には、ご家族おそろいで新年をお迎えになられましたこと、心からお喜び申し上げます。

さて、私が市長に就任しましてから、早いもので1年が経過しようとしています。この間、緊急の課題でありました災害復旧・復興にも何とかめどがたち、もう一つの大きな課題でありました新市の指針となる各種計画策定についても、12月に行政改革大綱ができ上がり、総合計画もこの3月議会に提案する運びとなっています。

いよいよ本年は、これらの計画をもとに本格的に新市のまちづくりを進めていく「勝負の年」になります。どんなに素晴らしい計画も、実現できなければ絵に描いた餅にすぎません。計画の実現のためには、行政と議会が車の両輪となって、一意専心努力していくのはもちろんのこと

ですが、市民の皆様のご絶大なご支援が得られなければ叶うものではありません。特に、行政改革の推進は、市民の皆様にも「痛み」を辛抱していただくことが多々あると思います。どうか皆様の一層のご理解とご協力を切にお願いするものであります。最後に、昨年の暮れに、私にいただいた差出人が一市民よりと書かれた手紙の一部をご紹介します。

「財政が厳しい中、いかに合併効果を早く出していくか実に難しい選択であると思いますが、これは行政の一人歩きだけでなく住民がいかに理解し協力するか、ここに基本があると思います。事業が決定してから職員が住民と接するのではなく、平素より住民と行政（職員）が笑顔で接する関係、すなわち一体になっている姿を築く心がけが必要だと思います」

手紙の内容は、市政に対するご助言ですが、私はこの手紙を読んで気持ち熱くするとともに、「市民の視線」にたった行政の大切さを改めて肝に銘じました。これからも、市民の皆様のご意見、ご助言を何よりも大切にしていきたいと思っております。

本年が皆様にとりまして良い年でありますよう衷心より祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。